

地域学校協働連携NEWS



こちらの QR コードから、閲覧・ダウンロードができます→

かんじきウォーク ～下郷町立江川小学校～

2月9日(月)、江川小学校において行われた「かんじきウォーク」の学習を訪問しました。「かんじき」とは、雪の上を歩く際に足が深く沈んだり、滑ったりしないように靴の下に装着する民具です。

当日は、2名の地域の方を講師に、かんじきのはき方や冬の草木について教えていただいた後、実際にかんじきをはいて雪の中を歩きました。かんじきをはいた足で雪を踏みしめながら歩く子供たちの姿からは、様々なことを感じ取っているということが伝わってきました。

自然探検、民具体験と充実した体験活動となっていますね。



<講師の方から>

勉強だけではなく、いろいろなことに興味をもって体験してみてください。そうすれば、大人になっても深く学んでいけると思います。先生よりも詳しく知っていることを、自分の中につくってほしいです。

<江川小学校児童の感想>

かんじきをはいて歩くと、雪にあまり沈まないことが面白いと思いました。歩いた場所は校庭でしたが、みんなで歩いて楽しかったです。

講師の小椋勝美さんと湯田俊一さんは、下郷中学校で行われた「里山自然塾」においても講師を務められました(地域学校協働連携 NEWS 第66号参照)。小椋さんは、江川小学校の学校運営協議会委員にもなっているそうです。お二人とも、学校の授業や行事等で何度も子供たちと関わっておられ、子供への関わり方がとても上手です。

域内には素敵な講師がたくさんいます。学校間で講師情報を共有できると、活動の幅を広げられるかもしれません。本NEWSもご活用いただければと思います。

